

みずほCustomer Desk Report 2020/04/24号 (As of 2020/04/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.83
TKY 9:00AM	107.83	1.0806	116.51	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.05	1.0846	116.83	1.2315	0.6299
SYD-NY Low	107.35	1.0756	115.64	1.2415	0.6406
NY 5:00 PM	107.62	1.0778	115.99	1.2309	0.6283
NY DOW	23,515.26	39.44	日本2年債	-0.160	▲1.00bp
NASDAQ	8,494.75	▲0.63	日本10年債	-0.010	0.00bp
S&P	2,797.80	▲1.51	米国2年債	0.2201	0.58bp
日経平均	19,429.44	291.49	米国5年債	0.3689	0.56bp
TOPIX	1,425.98	19.08	米国10年債	0.6023	▲1.44bp
シカゴ日経先物	19,425.00	80.00	独10年債	-0.4245	▲1.35bp
ロンドンFT	5,826.61	55.98	英10年債	0.2910	▲3.30bp
DAX	10,513.79	98.76	豪10年債	0.8760	2.70bp
ハンセン指数	23,977.32	83.96	USDJPY 1M Vol	7.93	▲0.65%
上海総合	2,838.50	▲5.48	USDJPY 3M Vol	8.33	▲0.10%
NY金	1,745.40	7.10	USDJPY 6M Vol	8.52	0.07%
WTI	16.50	2.72	USDJPY 1M 25RR	-2.03	Yen Call Over
CRB指数	113.49	2.38	EURJPY 3M Vol	10.25	0.40%
ドルインデックス	100.43	0.05	EURJPY 6M Vol	10.41	0.33%

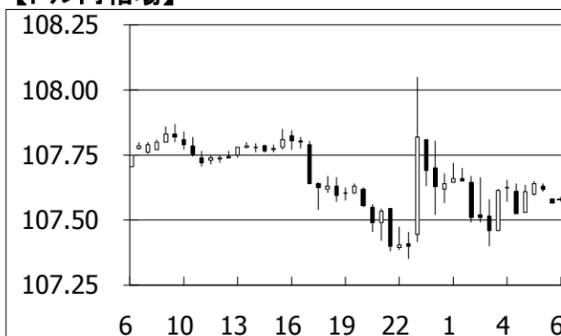
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月23日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 34.4/15.9/17.1	39.0/28.0/28.5
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 33.6/11.7/13.5	38.0/22.8/25.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 4427k	4500k
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 36.9/27.0/27.4	35.0/30.0/-
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 627k	642k

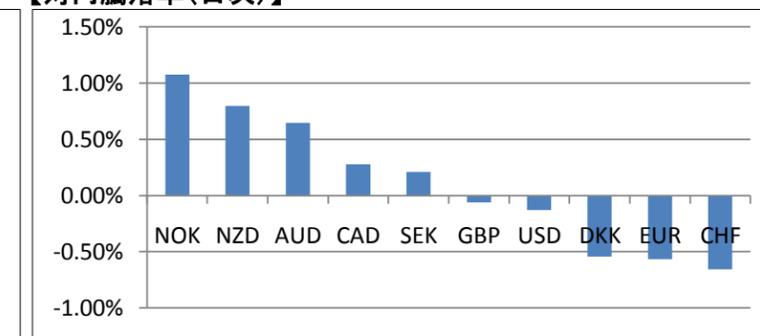
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月24日	15:00	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	3月 -4.0%/-4.8%	-0.5%/0.5%
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	4月 79.7/75.0/80.5	86.1/79.7/93.0
	21:30	米 耐久財受注(前月比/同(除く輸送用機器・前月比)・速報)	3月 -12.0%/-6.5%	1.2%/-0.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド 確報	4月 68.0	71.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ドル円は緩やかに下落

コロナウイルス発生当初は、中国を中心とした問題にすぎなかったが、わずか3ヶ月程でその感染範囲は世界に拡大。そして、各国主要都市のロックダウンによってグローバルに経済活動が停止した。その後、中国では武漢の封鎖解除、フランスやイタリアではロックダウンの段階的な緩和の検討が進められる一方で、ニューヨークではその期間の延長や、本邦では全国的な緊急事態宣言が発令されたばかりである。各地域での対応についてはそれぞれ時差があるうえ、再感染リスクを考慮すればロックダウンは、実施することよりも解除の方が難しい。当初、SARSやMARSの終息に7ヶ月～8ヶ月程度の時間を要したことが比較として用いられ、当初は大勢が半信半疑であったが、今となっては現実味を帯びてきている。かかる状況下で、サプライチェーンが世界に跨っていることを考えると、経済活動の完全な正常化は、夏以降になりそうである。

ドル円は3月に112円から101円台まで乱高下したものの、その後はコロナ前と変わらない水準へと回帰し、足元では108円手前で落ち着いている。コロナに関する不透明感が払拭されない限り、ポジションが一方向に傾く蓋然性は低く、米株や原油の反発によって108円台を回復する場面があっても、109円台まで上昇していく展開は想定し難い。むしろ、長引くコロナ不況を受け、FRBのゼロ金利政策と量的緩和が継続し、高金利通貨としての地位剥落とドル供給過多が意識されることでドル安が進行し、ドル円は106円台付近まで緩やかに下落すると考えている。(逸見)

東京	ドル円は107.83レベルでオープン。前日米株高や原油相場の反発が好感され、107.87まで上昇する場面があったが勢いは長続きせず、じりじりと押し戻された。その後は107.80を揉み合い推移し、結局107.81レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.81レベルでオープン。朝方から欧州の4月景況感指数が軒並み悪化したことでクロス円中心に売られ円高ムードだった。また4月月例経済報告が約11年ぶりに「悪化」となったことも円高に寄与し一時107.42まで売られ、107.55レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2366レベルでオープン。欧州の4月PMIが軒並み悪化しポンドもつれ安で一時1.2309まで下落。その後英4月総合PMIが過去最低となる中ポンドは逆に反転し今度は1.2374まで買い戻される。ただ方向感はなく結局1.2344レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は、107.55レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が記録的な高水準を維持するも市場の予想を下回っており、ドル円の反応は限定的だった。その後、安値107.35をつけるが、「日銀がコロナウイルス感染拡大への対策として、国債購入の上限額撤廃とCP・社債の購入額倍増を検討」との報にドル円は買いで反応し、108.05まで急上昇。しかし、15日以降108円近辺で上値が抑えられ、レジスタンスとして意識されているほか、米3月新規住宅販売件数が予想を下回る中、直ぐに107円台後半まで売り戻される。午後は「米製薬会社開発の抗ウイルス剤、治験初回は成功せず」と報じられると米株が上昇分をほぼ全て吐き出し、ドル円も安値手前まで下落。終盤は小幅反発後、107.60近辺で小動きとなり、107.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、欧州主要国とユーロ圏の4月PMIや独5月消費者信頼感指数が予想を大幅に下回ったことが嫌気され、ユーロ売りが強まり、1.0756まで下落し、1.0766レベルでNYオープン。朝方はメルケル独首相がEU各国の首脳に「ウイルス対策予算は巨額であるべき」と述べたことが伝わるとユーロが買い戻され、一時1.0846まで上昇。その後、1.08台前半での揉み合いが続くが、午後に「EU首脳会議、救済策の合意なし」とのヘッドラインにユーロが売られ、1.0762まで反落。終盤は1.07台後半で上値の重い推移となり、1.0778レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14